

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. イレブンプラスワンの政策提言について	<p>1. 市長に就任され約3年が経過し、その間の奮闘は大いに評価をするところです。この間、いわゆる「イレブンプラスワン」の政策提言については、そのほとんどの項目について着手または事業化されてきたところですが、実施実績についてどのような達成感があるのか伺います。また、全てが充足していないとするならば、何が不足していると感じているのか伺います。</p> <p>未達成の政策提言に、残りの任期中にこれから取り組むものや様々な理由により断念せざるを得ないものがあるのか。断念するものがあるとするならば、市民に対してどのように示すのかお考えを伺います。</p>			
	2. 地域活性化対策について	<p>1. 市政執行方針は、滝川市の平成26年度における1年の指標となりますが、地域経済の活性化を強く重視していると感じます。平成26年度が4月の消費税増税から始まる中で、3月までの駆け込み需要の反動で消費の腰折れ懸念が拭えません。市民生活に直接結びつく気配り、目配りの配慮が必要と考えますが、市長の見解を伺います。</p>			
		<p>2. アベノミクスと称される国の経済対策が、全国の隅々まで浸透しているとは言えない現状の中、滝川市は建設事業を中心とした事業の確保に努められていますが、農業についてはTPP問題の決着が未だ見えずにいるなど、国の政策が地域経済を大きく左右すると考えられます。このような中、滝川市独自の相乗効果を生み出すような施策を立ち上げていくべきと考えますが、市長のお考えを伺います。</p>			

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名		項目	要旨	メモ	
			<p>3. 市長が就任されてから今回までの市政執行方針、また、滝川市総合計画の中では、将来の滝川市を見据えたという趣旨の文言が見受けられますが、主役となるべく人を増やす対策が示されていません。人が増えることで滝川市の抱える問題の多くが解決されると考えます。その対策については、すぐに結果が出るものとは思いませんが、将来の滝川市を考える中では重要な対策の一つと考えます。今後の人口増に向けた具体的な施策についてお考えを伺います。</p>		
		3. 財政運営について	<p>1. 財政健全化指標における実質赤字比率や実質公債費比率では、滝川市の財政は数字上では健全であると思いますが、連結実質赤字比率や将来負担比率でみると、これからの事業の展開によっては大きく数字が跳ね上がることも考えられます。今後も様々な行政課題のある中で、財政運営についても危機感が求められると思いますが、どのように対応していくお考えか伺います。</p>		
		4. 公共施設マネジメント計画について	<p>1. 滝川市の公共施設の在り方については、将来に負担をかけずに施設の再編及び長寿命を図ることは喫緊の課題です。公共施設マネジメント計画における様々な角度からの視点は評価しますが、今後は地域住民など利用者への理解を深め、協力をいただくことが不可欠であると考えます。10年間の計画期間において、これからどのように計画を進めていくのか、更に施設の長寿命化に向けての財政出動の考え方を含めて伺います。</p>		
2. 元気な産業と活力あるまちづくり		1. 企業誘致について	<p>1. 平成22年6月に就任された鈴木副市長においては、短期間のうちにメガソーラーの誘致、地場特産品の販路拡大等の結果を出し、改めて敬意を表するものです。しかし、雇用に繋がる企業誘致についてはなかなか大きな成果を上げることは難しく、まだ結果には結びついていないと考えます。今後の企業誘致推進の方策についての考え方を伺います。</p>		

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
	2. 再生可能エネルギーの導入について	1. 再生可能エネルギーの導入について、風力発電の事業化の可能性を探る調査事業が行われていますが、事業化へ向けては、調査結果を受けて経済性の判断や環境アセスメントの実施など、長い期間が必要となります。今後、早期の事業化実現へ向けて、地域の理解を得るための説明や事業者や北電、関係する機関等への積極的な働きかけなどについて、どのように考えているのか伺います。			
		2. バイオマスや小水力発電の事業化の可能性について、国、北海道の施策と関連し、滝川市として実現が可能か調査する必要があると考えますが、今後どのように取り組みを進めていく考えか伺います。			
		3. 環境省の再生可能エネルギー等導入推進基金事業（グリーンニューディール基金）の活用について、滝川市として積極的に取り組む必要があると考えますが見解を伺います。			
		4. 大規模太陽光発電所の誘致については目を見張るものがありますが、今後はどのように取り組みを進めていくお考えか、また、北海道と連携し、道有地の利用も含めて取り組みを進めていく考えはないのか伺います。			
	3. 住宅用太陽光発電の導入支援について	1. 住宅用太陽光発電の導入支援についてはPRに徹し、滝川市オリジナルの魅力を持たせる必要があると考えますが、見解を伺います。			
	4. 住宅、ビルなどの省エネ支援について	1. 資源エネルギー庁の進める住宅、ビルの省エネを支援する補助制度（HEMS機器導入支援事業等）を活用する必要があると考えますが、見解を伺います。			

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
		2. 国土交通省の「環境・ストック活用推進事業」は省エネ、省CO2化を目指した事業ですが、滝川市としてもゼロエネルギー住宅の推進を考えてはいかがでしょうか。市長の見解を伺います。			
	5. 農業生産基盤強化の推進について	1. 農用地の生産基盤強化を推進するため、道営土地改良事業の工事継続地区においては工事の早期完了のために、また、今後実施予定地区については早期の採択と早期着工に向けた予算の確保が必要であると考えますが、国、北海道への要望を含め、どのように予算化し進めていくお考えか伺います。			
		2. 市政執行方針においては、食料供給基盤強化特別対策事業（新パワーアップ事業）の活用により、農家負担の軽減を図るとありますが、この制度の継続及び今後の先行きをどの様に考えているのか伺います。			
	6. 新規就農者確保対策について	1. 高齢化や後継者不足により、今後予想される担い手不足に対応するため、意欲ある新規就農者の確保は非常に重要な施策であると考えますが、市として具体的にどのような施策を展開していくのかお考えを伺います。また、現在までの新規就農者の実態と問題点についてどのように把握し、どの程度の数値目標を掲げるのか伺います。			
		2. 新規就農者の確保対策として花・野菜技術センターとの連携も重要であると考えますが、市長のお考えを伺います。			

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
	7. 畜産試験場跡地利用について	1. 平成23年に畜産試験場跡地の利用計画が策定されました。計画策定後、(株)滝川アグリによる利用が計られたところですが、その後大きな進展には至っていないと聞いています。現在までの進捗状況及び今後の展望、問題点について伺います。また、北海道との連携のもと強力な誘致運動が必要と考えますが、市長の見解を伺います。			
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 観光客誘致対策について	1. 国内外の観光客の誘致対策として、外国人の受け入れ環境の向上、サイクリングツアーなどの観光ツアーの誘致のほか、たきかわ観光協会、スカイスports振興協会とともに富良野、美瑛エリアの観光事業者と連携した広域的な観光資源とグライダーを結びつけた新たな観光メニューは、今後の観光客受け入れの大きな一歩と期待するところです。そこで、実際に滝川を訪れた観光客に対しどのように滞在してもらい、滝川の良さをアピールし、リピート、口コミへと繋げていき、更なる観光客の増加に結び付けていくのかお考えを伺います。			
		2. 平成25年度市政執行方針で、観光客が旅行に必要な情報を得られる仕組みづくり、まちの見どころなどを写真、映像で紹介する総合案内窓口機能の構築を目指すとの考えを示されましたが、平成26年度市政執行方針にある広域観光総合窓口の設置については、どのような機能を持ったものか伺います。			
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 公共事業の実施について	1. 新年度予算において、普通建設事業費として、道路新設改良事業費などの一般会計と特別会計を加えて合計34億7,900万円の大型予算が計上されていますが、地域経済活性化のための景気対策として、入札時期、早期発注を含めどのように実施していくのかお考えを伺います。			

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名		項目	要旨	メモ	
		2. 栄町3-3地区について	1. 先日マスコミでも報道された、本年7月末での三番館撤退に伴う高林デパートの整理についてですが、この件で消費者の購買地区の更なる変化が予想され、中心市街地の空洞化に拍車がかかると想定されます。長い間、名店ビルを含めた再開発問題が動かなかった中、栄町3-3地区は重要な問題と位置付けている前田市長は、更なる中心市街地の空洞化への対策や再開発についてどの様に考えているのか伺います。		
5. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり		1. 滝川駅前広場再整備について	1. 滝川駅前は滝川の顔と称された前田市長にとって、駅前広場再整備事業は周辺の駅前の商店街、空き地等を再整備する絶好の機会と考えます。この駅前広場再整備事業と合わせて、周辺の再整備を図ることについてのお考えを伺います。		
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり		1. 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例について	1. 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例が施行されることは、対象の子どもにとっては救いの一助になるものと思います。しかし、いじめの防止には、学校・家庭・地域社会全体での取り組みが不可欠です。この条例の目的を子どもたち、学校、家庭、地域社会に対してどのように周知徹底を図り、学校、地域からいじめをなくす取り組みを進めていくのかお考えを伺います。		
		2. 英語教育指導の広域連携について	1. 市長は以前、これからのまちづくりは滝川だけがよくなればよいということではなく、中空知全体を考え近隣市町の発展も視野に入れ、共同でできることは積極的に協力していくことも大切なことであるとの認識を示されました。定住自立圏構想の推進においては、都市機能、地域資源の活用だけではなく、教育の分野においても共同で進められることが多々あるのではないかと思います。例えば、外国青年招致事業においては、JETを活用している自治体と活用していない自治体がありますが、その活動内容は同じであり、語学力の強化を考えた場合、広域で語学指導研究会などをつくり、各自治体の英語指導者、外国青年が連携して英語指導研修を行う組織を作ることとも可能ではないでしょうか。滝川市の見解を伺います。		

質問順位	2	質問者	坂井英明議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
	3. 給食費の公会計への移行について	1. 給食費を公会計に移行すると判断した理由について、メリット、デメリット面を含めて伺います。			
7. 市民が活躍するまちづくり	1. 東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致について	1. 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた出場選手の合宿を誘致するための体制づくりについてですが、具体的な誘致策についてどのように考えているのか伺います。 また、関連する施設の増改築、改装・改修についてはどのように考えているのか伺います。			
8. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 定住自立圏構想の推進について	1. 定住自立圏構想は、これからの広域行政の第一歩となる役割を担うと思いますが、広域的な行政運営の考え方は、従来の行政運営とは異なり、まだ理解し難い市民も多くいるものと思います。市民の理解を得るため、今後どのように進めていくお考えか伺います。			
		2. 本年1月に滝川市は中空知10市町圏域を枠組みとして、砂川市と複眼型中心市宣言を行いました。平成26年度の特別交付税の適用を受けるためには、11月末までに定住自立圏共生ビジョンを策定しなければなりません。協定締結やビジョン策定に至るまでに構成市町と検討しなければならないハードルや具体的なスケジュールについてお示しください。また、構想の重点項目をどのように考えているのか伺います。			
	2. 市役所改革について	1. 市長就任から約3年が経過し、市役所改革の成果として徐々にではありますが職員の意識が変わってきていると感じています。しかし、市長自身が言われている民間との違いということが、行政を執行している職員にはなかなか伝わっていないとも感じます。市長は、民間感覚と行政執行の違いをどのように認識され、残された任期の中で市役所をどのような組織としていきたいと考えているのか伺います。			